

あさひ小学校で 森林学習(事前学習)

朝日庄内森林生態系保全センターでは、毎年7月上旬に、あさひ小学校(鶴岡市)5年生の児童たちと一緒に、大鳥池登山(令和4年度は、吊り橋が壊れて通行出来ない為、六十里越街道で実施)や森林整備などの森林学習体験を行っています。

今回は、あさひ小学校にて、屋外のプログラムを実施する前に、5年生の児童たちと一緒に、登山をする上での注意点、森林がどのような役割を果たすか等を学びました。



登山の注意点等を説明

前半は、7月7日の登山を実施する上での基本的な注意点、コースの概要、ウルシやクマと行った危険な動植物等について、昨年度の映像及び写真を用いて説明しました。



森林の機能について説明



真剣に聞く児童たち

後半は、森林の機能など、全般的な森林について学習するとともに、7月8日に実施する作業について、パワーポイントの映像を見ながら木の伐り方について学習しました。

児童たちも真剣に話を聞き入り、登山における注意事項や、森林の機能について理解を深めた様子でした。